

静かな空を
もとめて

八王子・日野支部だより

第2次新横田基地公害訴訟
八王子・日野支部 第3号
発行責任者 金子康彦
編集責任者 渡邊てつよ

市議会傍聴にご参加
ください

八王子市議会第3回定例議会で
「横田基地被害とオスプレイ配
備問題」一般質問

9月3日(火)午前10時～松本良子議員
同日 午後2時頃～ 井上睦子議員

(午後の開始時間は早まることがあります。)

米軍横田基地に オスプレイ配備を検討

米太平洋空軍司令官が7月29日空軍仕様の危険なCV22オスプレイの有力な配備先として横田基地と言及しました。日米両政府が協議中であるが相当の可能性があるとしています。菅官房長官は「米側からその通報はなく、政府としては承知していない」と述べています。

在日米空軍基地は嘉手納、横田、三沢だけであり横田基地に配備される可能性は大です。墜落事故を繰り返してきたオスプレイは、海外の敵地作戦部隊の投入目的であり、日本の防衛とは無縁のものです。8月5日沖縄のキャンプハンセンでヘリ墜落事故が発生し、危険性が増しています。東京上空の広大な米軍専用空域を飛行する危険性は沖縄以上です。

私たち第2次新横田基地公害訴訟原告団と第9次横田基地公害訴訟原告団は、共に配備阻止の闘いに臨むこととして、すでに政府や関係自治体要請などの行動に取り組みを開始しました。

要請活動に参加して

8月15日・八王子市長、19日・日野市長、20日・八王子市議会各会派への要請活動に参加した。

すでに横田基地隣接の五市一町、青梅市、あきる野市が日本政府に撤回要請をしていることを受け、両市への要請は「行政のあり方」(市民の騒音被害への取り組み姿勢)を問うことでもありました。

いま、横田基地での空軍訓練の拡大とそれに伴う騒音空域の拡大、その下に住む人々の不安の増加という現実、また、その問題の解決には「訴訟」をしてまで要求しなければならないという現実がある。

そこに、オスプレイという、低空で飛行し、さらに低周波音の発生源となるであろうことを心配し、直ちに日本政府に計画の撤回を要請することが期待されるのである。今から配備を止める活動を行政もしなければ、今までと同じ『米軍が決めること』という態度を変えて、住民の立場での行政を期待できない。

このような申し入れは今後も続けるだけでなく、さらに市民、市議会議員の多数の理解を集めることは、我々の騒音被害訴訟への理解と支援に力づける重要な活動でもあることを強く感じ、決意を新たにしました。

(八王子支部世話人 立石正之)

政府、自治体に要請書送付と交渉の経過

8月6日 内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣に送付

8月13日 東京都、埼玉県、飯能市、入間市に送付

8月15日 石森孝志八王子市長へ要請

対応は総務部 総務課。担当主査からは市民からの騒音の苦情は市に届いている。この申し入れは市長へ伝え、総務部としてオスプレイ問題を検討していきたいと回答がありました。八王子市長からの見解はありませんでした。

8月19日 大坪冬彦 日野市長へ要請

8月15日の八王子市長要請に続いて日野市へ同様の申し入れをしました。対応は企画調整課長。八王子と同様に基地の情報把握に苦慮しているとのことでしたが、オスプレイ配備計画の撤回を求める見解は頂けませんでした。

8月20日 八王子市議会議員 各会派へ要請

自民党新政会1名、公明党1名、共産党1名、市民・民主クラブ1名、社会民主党・生活者ネットワーク・市民自治の会から2名、諸派1名の議員が参加。オスプレイ配備計画撤回の



申し入れを市長へ行った旨を説明し、各議員から市へ声を上げて頂きたいと協力要請を行いました。積極的に受け止めていただき、各会派へ持ち帰り検討すると約束して頂けました。

八王子市議会各会派の議員に申し入れ。
右側の7名が市議会議員。

予告 第2回口頭弁論

10月30日(水)午前11時
東京地裁立川支部101号法廷

